

津南警察署協議会議事録

令和4年度第1回津南警察署協議会	
日時 場所	令和4年7月11日（月）午後2時から午後3時30分まで 津南警察署2階大会議室
出席者	<p>1 三重県公安委員会 長江正委員</p> <p>2 警察署協議会（9名） ウィルチコ・フローリアン委員、近藤良子委員、杉本豊次委員 竹川智宏委員、中谷美智代委員、古田賢子委員、松田道明委員 水谷賢次委員、吉田玲子委員</p> <p>3 警察署（9名） 署長、副署長、会計課長、警務官、生活安全課長、地域課長 刑事課長、交通課長、警備課長</p> <p>4 事務局（2名） 警務係主任、警務係</p>
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
<p>1 三重県公安委員会委員挨拶 「協議会委員の皆様には、地域の特性を踏まえつつ、それぞれの目線からの御意見や御提言をいただき、安全・安心な地域づくりに向けた警察署の業務運営にお力添えをお願いする。」旨話した。</p> <p>2 署長挨拶 日頃の警察業務への理解と協力に対する謝意を述べ、警察署協議会が設立された経緯を説明した上で、「新型コロナ感染状況を見ながら、警察署協議会を年間4回開催したいと考えている。警察が独善に陥らないよう、多方面で活躍されている皆様の御経験を活かした忌憚のない御意見を警察活動に反映し、更に市民のための津南警察署となるよう努める。」旨話した。</p> <p>3 会長、副会長選出 委員の互選により、会長に竹川委員を選出し、竹川会長が笠井委員を副会長に指名した。</p>	

4 管内情勢等説明

署長から、津南警察署の組織構成、管内面積等について説明した。

また、令和4年版「県警だより」等を基に、特殊詐欺、DV・ストーカー事案、登下校時の子どもの安全対策、交通事故発生状況等について説明した。

5 主な協議

<委員>

小中高校生の多数がスマートフォンを携帯している中、SNSに起因した被害が発生しているが、SNSに関係する相談は何件くらいあるのか。

また、小中高校生が、SNSで被害に遭わないよう各戸に配布されている「生活安全かわら版」等で注意喚起することはできないか。

【署長】

昨年、SNSに起因するものも含め、三重県内における少年からの犯罪に関する相談件数は80件で、一昨年と比較すると、若干減少しています。

【生活安全課長】

SNSによる被害防止について、「生活安全かわら版」等の資料で注意喚起していきます。

<委員>

奈良県での安倍元首相殺人事件で、犯人がインターネット情報から銃を作ったとの話があるが、インターネット上で出回っている有害な情報を規制することはできないか。

【署長】

インターネット上には児童ポルノや薬物情報など様々な違法な情報のほか、すぐに違法とまでは言えないものの爆発物等の製造方法等の有害な情報が氾濫しています。

警察は、民間団体等と連携してサイバーパトロールを実施し、インターネット上の違法情報、有害情報の把握に努め、事件化や削除依頼等の措置を行っています。

<委員>

様々な情報を基に、警察官が見える形で登下校時の見守りをしてもらい感謝している。

駐在所員を〇〇さんと名前と呼べる関係はとても心強いです。引き続き、警察と学校、地域が連携、協力して安全対策をしてもらいたい。

【地域課長】

市民の皆様から、〇〇さんと呼んでもらえるように、引き続き、地域に密着した仕事をしていきますので、市民の皆様も警察官に様々な情報提供をお願いします。

<委員>

新型コロナの影響で中止となっていた小学校等での交通安全教室について、

今後、再開する予定はあるのか。

【交通課長】

本日、管内の小中学校で、「まもってくれてありがとう運動」のモデル校指定式を実施し、小学生に横断歩道での通行等について指導してきました。

安全教室についても、新型コロナの影響を勘案しつつ、学校からの要望を受けて実施していきたいと考えています。

【署長】

三重県警察では、リモートでの防犯教室や交通安全教育に関する授業も実施しているところですが、今後、新型コロナの感染状況を見ながら、対面でのハンドサインキャンペーン等の広報啓発や自転車の通行方法等の交通安全教育を進めてまいりたいと考えています。

<委員>

美杉地区では、小中学生の多くが、スクールバスを利用して登下校している。また、距離が離れた友達の家に行く場合は保護者が車で送迎しており、小中学生までは自転車等を利用する機会が少ないので、自転車のルールについて子供たちに教えていただきたい。

6 総括

【署長】

過去には問題がなかったとしても、前例踏襲ばかりではその後問題が生じる場合があるので、警察は様々な事象に対してアンテナを高くして慎重に対応する必要があると考えています。そのために、警察署協議会で様々な角度から意見をいただき、警察行政の透明性の確保と自浄能力に反映していきたいと考えています。

7 講評

公安委員会委員から、「今回、「生活安全かわら版」での注意喚起、広報に関する御意見など、引き続き、市民のための警察となれるよう市民目線で様々な御意見を頂戴したい。安倍元首相の銃撃事件等住民が不安を感じる事案が発生しているが、安全、安心な社会をつくるために、市民と警察との間で、必要な情報共有や、駐在さんを〇〇さんと名前と呼べるような信頼関係を構築していくことが大切である。」旨話した。

備 考	
-----	--